

金正日総書記からの慰問金が被災同胞に手渡されました！



4月6日に宮城で行われた伝達式



被災者を一軒ずつ訪ね慰問金を手渡す

金正日総書記が東日本大震災被害同胞に送った50万ドルの慰問金伝達式が4月6日、宮城県で許宗萬責任副議長（中央緊急対策委員長）参加のもと行われました。

また8日に岩手、10日に茨城、11日に福島で行われ、被災者たちへ慰問金が手渡されました。

伝達式に参加した同胞たちは、総書記の温かい配慮に心からの感謝の意を表すとともに、団結して難関を克服し、復旧に向けて立ち上がることでその恩恵と期待に、応えると熱く語りました。

慰問金の額

遺族（故人一人あたり）	20万円
家屋（一戸あたり）	全壊15万円、半壊10万円、床上浸水5万円
店舗（一軒あたり）	全壊15万円、半壊10万円
原子力発電所の事故による30キロ圏内の避難指示、屋内退避区域に居住する同胞（一世帯あたり）	5万円

また許宗萬責任副議長は、緊急対策委員会宮城県本部メンバーとともに被災者を一軒ずつ訪ねながら慰問金を直接手渡しました。

宮城県商工会会長は総書記からの慰問金について「…本当に、本当にありがたい。事実、大震災で本当に苦しかった。しかし私達には祖国があり組織があり同胞たちがいる。…われわれは宮城同胞社会を復旧再生し、ウリハッキョをりっぱに再建する。」と話しました。

宮城県商工会会長は総書記からの慰問金について「…本当に、本当にありがたい。事実、大震災で本当に苦しかった。しかし私達には祖国があり組織があり同胞たちがいる。…われわれは宮城同胞社会を復旧再生し、ウリハッキョをりっぱに再建する。」と話しました。

東日本大震災総聯中央緊急対策委員会



東日本大震災被害同胞救援募金 ウリハッキョの復旧と 同胞の生活再建のため支援金が渡されました

甚大な被害を受けた東北朝鮮初中級学校の復旧支援金1,000万円を含め宮城同胞たちへ1,720万円が渡されました。また岩手同胞に500万円、福島同胞に580万円、茨城同胞に300万円がそれぞれ渡されました。



地震による地盤沈下で大きく傾いた校舎、ひび割れた玄関（東北朝鮮初中級学校）



津波によって甚大な被害をうけた同胞店舗



完全に流失した自宅兼店舗のあった敷地にて
(岩手大船渡)

ウリハッキョの復旧と被災地同胞の生活再建のためには長期的な支援が必要です。

在日コリアン応援プロジェクトロゴ



権美愛さん（東京）提供



金成一さん（東京）提供

引き続き募金運動に多くのご協力を！

口座名：東日本大震災被害同胞救援募金

口座番号：ハナ信用組合 本店営業部

(普) 1131243